

県高等学校総合体育大会ボウリング競技

(兼第 39 回 JOC 杯全日本高校選手権県予選会、兼第 14 回関東地区高校対抗競技大会県予選会)
平成27年5月9日(土)～10日(日) 於:戸塚ボウリングセンター

男子学校対抗4連覇のかかったこの大会への意気込みも高く臨んだ選手は、個人戦/チーム戦とも全力で戦い、チーム戦では1～3位表彰台を独占！4位も県工が入賞し、個人戦は2位、4位に入賞、個人総合も1位、5位、6位入賞しました。この結果を元に順位がつく学校対抗は、2位に450ピン差の大差をつけて男子4連覇を達成することが出来ました。



第14回 関東地区高校対抗ボウリング競技大会

平成27年6月13日(土)～14日(日) 於:千葉リバーレーン(千葉県千葉市)

県高校総体の結果を受けて、今年は男子3チーム、男子個人1名、女子個人1名が出場しました。県総体3位ペア(E3市川/C2小西)が奮闘し、男子チーム戦5位に入賞。男子個人戦では2位(M3土方)と5位(C3長瀬)に入賞。男子個人総合も2位(M3土方)に入賞し、ハイゲーム賞も290をたたき出したC3長瀬君が受賞しました。学校対抗の表彰は当該校の先生が受賞することになっているので、4年ぶりの関東優勝という形で表彰台に上がりました。



JOC ジュニアオリンピックカップ 第39回全日本高校ボウリング選手権大会

平成27年7月28日(火)～30日(木) 於:川崎グランドボウル(神奈川県川崎市)

本校で頑張っているのは、男子だけではないことを証明しました。この大会は個人戦の日本一を決める大会で、本校から男子4名、女子1名が出場し、男子は健闘しましたが残念ながら予選通過1名に終わり、総合順位23位で終了しました。その分女子が奮闘し、予選9ゲームをC3大久保さんが2位通過で決勝に進出しました。決勝3ゲームは、期待しましたが残念ながら失速し、それでも3位と1ピン差でしたが4位入賞することが出来ました。優勝と3位も同じ神奈川の選手で、顧問も神奈川総監督の任命を受けていたので嬉しかったです。写真は神奈川女子入賞選手を囲んで、神奈川の応援してくれた他校応援メンバーとの集合写真です。(左側緑色のユニフォームが本校生徒です)一緒に声援してくれた他校応援メンバーに感謝します。



第19回 県高校2人チーム競技大会

(兼第22回全国高等学校対抗ボウリング選手権県予選会)

平成27年11月21日(土)～22日(日) 於:江の島ボウリングセンター

この大会も男子4連覇がかかっていましたが、主力メンバーが大学推薦日と重なったり、打倒県工に燃える他校選手の意気込みに押され、健闘しましたが2位、4位、6位入賞にとどまり、4連覇達成をする事が出来ませんでした。この結果を受けて12月に行われます「第22回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会」に今年は部員数規定で2代表出場することが出来ました。この大会結果のリベンジと「5年連続決勝トーナメント進出」を最低目標に掲げて、全国の頂点を目指します。



文部科学大臣杯 第22回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

平成27年12月18日(金)～20日(日) 於:川崎グランドボウル(神奈川県川崎市)

神奈川県初の4年連続決勝トーナメント進出(26年決勝6位、25年決勝8位、24年決勝5位、23年決勝3位)をしていますが、今回特に出場選手全員で「全国制覇」を掲げて、今まで練習してきたことを楽しんで試合に臨みました。全国男子64チームの出場で予選9ゲーム2人の合計18ゲームの上位8チームが決勝に駒を進める「ボウリングの甲子園」の別名もあるこの大会も年々レベルが上がり、今大会もハイレベルな上位争いになりました。Bチームペア(E3市川/C2小西//C3寺山)は残念ながら決勝進出を逃しましたが、総合15位と神奈川勢3番目の成績を収めることが出来ました。

Aチームペア(M3土方/C2吉川//C3長瀬)は、終始安定した投球を見せ、トップと10ピン差の2位で予選通過することが出来ました。予選2ゲーム目には、M科3年土方君が第10号となるパーフェクトゲームを達成しチームに弾みが出ました。

5年連続決勝進出を果たせた決勝トーナメント1回戦は、県工464-404岐阜聖徳(岐阜県)の大差で破り、準決勝に駒を進めました。準決勝は過去2度負けている京都代表の洛陽総合で、やはり5フレーム終了まで3ピンリードの僅差で緊張が続きましたが、冷静に試合運びをすることができ、県工416-387洛陽総合(京都)で退け、初の優勝決定戦に進出をする事が出来ました。

優勝決定戦は、気負うことなく、今までの練習してきた全てを楽しんで最後まで攻めの手を緩めることなく県工455-370近大新宮(和歌山県)の大差で、初優勝することが出来ました。

選手の頑張りはもちろんですが、学校関係者、OBの方々、保護者、神奈川新聞をはじめとするメディア関係者、スポーツ横須賀をはじめとするボウリング場関係者、連盟協会関係者のご支援ご協力が無ければ達成できないことだと感謝いたします。

